

# 《新総本部紹介》関西吟詩会館 大改修工事竣工

相談役 安藤寿真

平成30年3月より始まった会館大改修工事は、平成31年4月5日、設計施工業者より会館の引渡しを受け、同年4月19日、元老・相談役・公認会代表の諸先生、及び理事・監事同席のもと、竣工式を執り行い、会館竣工をお祝い致しました。

会館建設問題は、本会の長年にわたる課題であり、公益社団法人として、会館問題の早期解決を図ることは必要不可欠な事でもありました。

数年にわたり、新会館の建設も含め、多方面より検討し、議論をしまいりました。保有特定資産（会館維持引当資産・会館建設基金引当資産）の範囲で、無理をせず、身の丈に合った大改修が、最も現実的で実現可能であるとの結論に達し、この度の大改修工事となりました。

建物の外観は変わりませんが、現在の基準に合致した耐震対策工事を

施し、エレベーターを設置致しました。1階の狭い倉庫には移動ラックを入れて、収容能力を高め、2階・3階の会議室は、二重窓にして音響設備を充実、プロジェクターを設置して研修会などの環境を整えました。4階は少人数の会議室と、図書室、及び倉庫を配し、屋上には人工芝を敷いて、居住性を高めました。

総じて会員の皆さんに利用して頂きやすい、快適な会館に生まれ変わりました。

このように立派な会館が出来たことは、永年にわたり基金を積み立て、次代に引き継いで頂いた、先輩諸先生のご配慮の賜物と心より感謝致しております。

会館問題に携わって頂いた諸先生、共に心から喜びを分かち合いました。

本当に有難うございました。



正面玄関



玄関正面



新装総本部外観